

# MJM MellowMuse

## Auto Time Adjuster v1.2

プラグイン・オペレーション・マニュアル:



RTAS

2008 Mellowmuse. All rights reserved

## 1. はじめに

オート・タイムアジャスター(ATA)は Pro Tools LE/M-Powered でレイテンシーを生み出すプラグインを使用して作業を行う時にそれらを緩和できるように設計されたRTASプラグインです。

あなたはプラグインのレイテンシーを補正するためにオーディオ・トラック(リージョン)を前後に動かしたり、それぞれのトラックへ順番に「タイムアジャスター」プラグインを使用している場合、このプラグインは微調整をプロジェクト単位で行うことが可能です。

ATA は各トラックにインサートされ、すこし崩れた音が各チャンネルに送られます。ProTools ミキサーのマスター・フェーダーにマスター ATA をインサーとします。マスターはその後、全体のレイテンシーを補正するために、それぞれのトラックに必要な遅れを計算します。

この操作はボタンのクリックだけで行われます。

外部ハードウェアをインサートして使用する場合や、あなたがトラック上にプラグインを加えたり、削除するとき、再びマスター ATA の PING ボタンをクリックするだけで、再度プラグイン・レイテンシーを計算し直し同期したトラックを再生することができます。

## システム必要条件

### Windows

Windows XP/Vista

Pro Tools LE / M-Powered v7.3 以降

### Mac OS X

OS X 10.4 / 10.5 (ユニバーサル・バイナリー)

Pro Tools LE / M-Powered v7.3 以降.

### インストール

スタンダード Digidesign プラグイン・フォルダーのなかにあなたのライセンス・ファイルと MM\_ATA.dpm (MM\_ATA.dpm.rsr as well if Windows) をコピーしてください。

Windows の場合 : C:/Program Files/Common Files/Digidesign/DAE/Plug-Ins

Macintosh の場合: /Library/Application Support/Digidesign/Plug-Ins

\*OS の言語環境によってフォルダ名が違う場合があります。

## 2. ATA を使用する

オート・タイムアジャスター(ATA)はモノラル/ステレオ・オーディオ、AUX とマスターチャンネルのインサート・チャンネルの最初のインサート・プラグインとして使用します。あなたがインサートする ATA の各例は AUX1~5 グループのどで使っても同じ機能を果たします。グループの概念は ATA がどのように動作しているのかを理解するのが主要であり、次のセクションでさらに解説します。

1つの事例はマスターにセットされなければならないだけです。そしてマスター・フェーダー上にインサートされるとこれはほかの事例をコントロールし、少しのディレイもオフセットされません。



### ヴァーチャル・インストゥルメンツ

入力される音はそれがそのまま妨げられることなインサートに送られなければなりません。大部分のインストゥルメントは、オーディオインプットがないため、ATAはインストゥルメントの後のインサート・スロットに設置しなければなりません。そのようにすれば、その後にエフェクトをかけても補正することが可能です。

**注意:** 実際のインストゥルメントの遅延もマニュアルで補正するために楽器を再生するためのMIDIトラックの遅延をリアルタイム・プロパティをセットすることで可能になります。これは一度セットするだけで有効となります。

### ビデオトラック

現在、ATAはビデオトラックの遅延を補正することはできません。

### レコーディング

ATAはミキシングを行う場合のプレーバック時にも有効です。しかし、タイミングの遅らせる効果をトラックに加えるためにレコーディング時には無効にするか、削除しなければなりません。

## 3. グループ & ルーティング

6つの異なったグループがATAには存在します。:オーディオとAux1~5

それぞれのグループはいくつかの任意のトラックをまとめることができます。Aux1 という名称について混同しないように注意してください。それは一つの Aux チャンネルのことを差し、すべてのグループにも当てはまります。それらをグループと呼ぶと、あなた方はレイテンシーの層(レイヤー)と考えることもできます。そのグループにまとめられたチャンネルはそれぞれのグループのチャンネル・レイテンシーを補正します。

ATA を使用する上で1つ基本的なルールがあります。それは、すべてのアウトプットとセンドは1つのグループから順に供給されなければなりません。

**Audio > Aux1 > Aux2 > Aux3 > Aux4 > Aux5 > Master**

**例:**

通常、ATA オーディオ・グループ、セッション・オーディオ・トラックからスタートし、それぞれのトラックのオーディオにセットされる ATA はスロット1を使用して下さい。あなたがオーディオトラックにリバーブを付加したい場合、新しい aux チャンネルを作り、リバーブの前、スロット1にATAをセットしてください。

あなたは少なくとももう1 aux チャンネルとバスを作らなければなりません。すべてのインサート・スロット1にATAをセットしてください。

オーディオ・トラックのサブミックス・セットを必要とするなら、Aux1 にセットされているATAでいくつかのバスにオーディオを振り分けることができます。このトラックの Aux1 グループはマスター・フェーダーに送られます。しばしばATAオーディオとAux1グループを使用する必要があるかもしれません。

**Audio > Aux1 > Master**

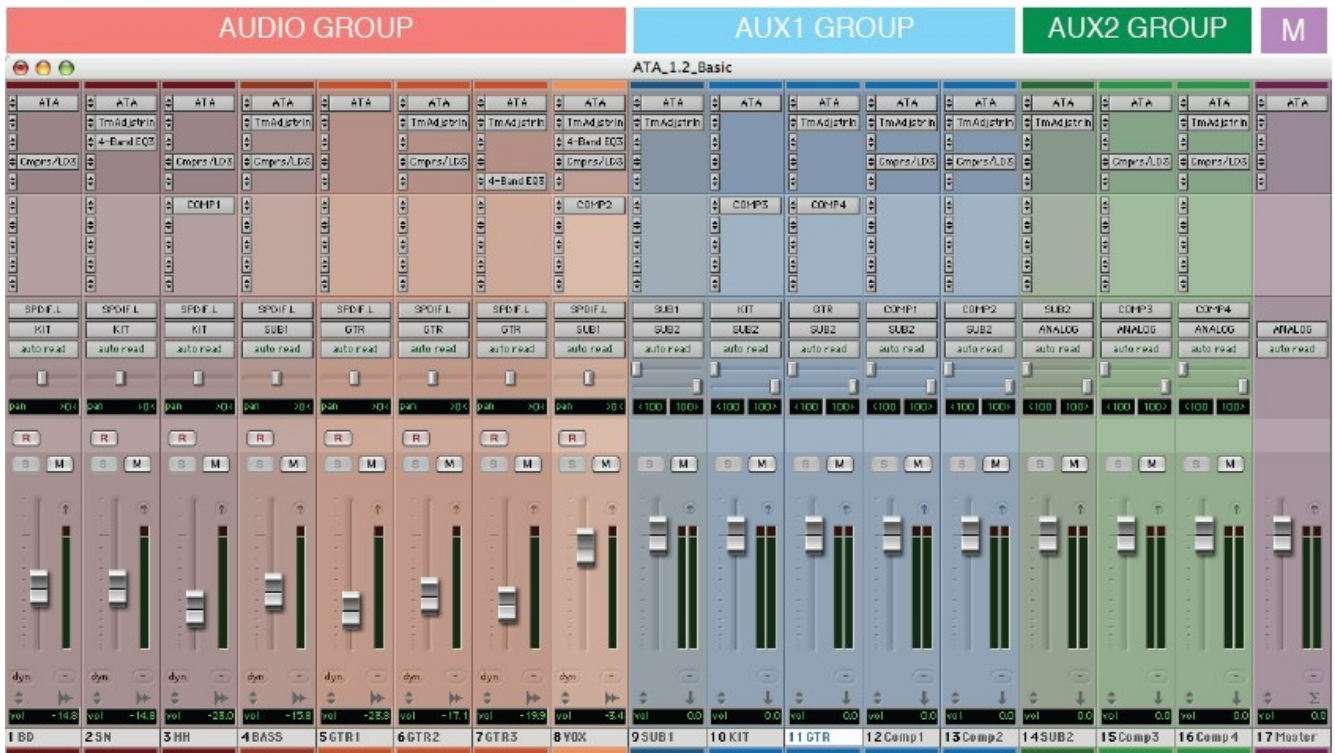
**注意:**旧バージョンではオーディオ・バスはプラグインを加えることによって起こるレイテンシーから免れる必要がありました。しかし現バージョンではこの制限は取り払われ、信号経路のどこにプラグインを加えることができます。

もう1セットの aux エフェクトにATA Aux1 グループ(リバーブ、またはオーディオ・サブミックス)の中にトラックを送りたいのであれば、このプロセスを繰り返し、新しいエフェクト aux を作り、少なくとも1つのオーディオ・バス aux を加えて、ATA Aux2 を インサート・スロット1にセットしてください。そしてマスター・フェーダーにAux2を送ってください。

**Audio > Aux1 > Aux2 > Master**

カスケード・ルーティング・プロセスは Aux5 グループまで繰り返すことができます。

## 4. ベーシック・セッション



「基本的な」例を示すサンプル・セッションファイルを弊社のウェブサイトからダウンロードすることが可能です。

すべてのトラックは最初のインサート・ポジションにATAをインサートしています。赤いチャンネルはオーディオ・トラック・グループで、ATAはオーディオにセットされます。青いチャンネルはAux1、緑のチャンネルはAux2、マスターはマスター・フェーダーにセットされます。

バスKIT、SUB1、およびGTRのすべての出力がAux1グループ送られていることを確認して下さい。Aux1の出力バスはAux2グループのSUB2に入り、最終的にマスター・フェーダーへ送られています。3:HHと8:VOXはAUX1グループのCOMP1とCOMP2に送られ、10:KITと11:GTRはAux2グループのCOMP3とCOMP4に送られていることを確認してください。

## 5. トラブルシューティング

- 1) ソロ、ミュートが作動中でないことを確認してください。  
作動中の場合、サウンドの再生ができない場合があります。
- 2)トラック・フェーダーがゼロになっていないことを確認してください。  
ゼロになっていると音が再生されません。
- 3) 特にリバーブやディレイはオーディオのイメージを付加させます。したがって、プロセッシングの障害になりやすいのでエフェクトの前に回避する必要があります。これはセッティングに依存する他のタイプのプラグインにも有効かもしれません。
- 4) 外部ハードウェア・インサートは稀にミックスコントロールにおいて 100%ドライによるバイパスにセットする必要があるかもしれません。
- 5) ご使用になるオーディオインターフェイスのバッファサイズは ATA が信頼できる再生能力のために 256 サンプル以下に設定するべきではありません。そしてミキシングを行う場合には、fx などのためにより多くの CPU 処理を必要とするため、通常 512 や 1024 サンプルなど通常より大きなバッファサイズを必要とします。

### サポートについて

最新の情報と最新版についての詳細の情報は下記 URL より Mellowmuse ウェブサイトを参照してください。

<http://www.mellowmuse.com>

関連したシステムについて、製品データ、OSバージョン、プロダクト・バージョン、マシンスペックについても含むテクニカル・サポートについては下記メールアドレスにて承ります。

[mmsupport@mellowmuse.com](mailto:mmsupport@mellowmuse.com)